

第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会

日 時: 令和5年 11 月 17 日(金) 14 時 00 分から 15 時 30 分まで
場 所: 仙台市役所本庁舎8階 第四委員会室

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

- (1) 令和5年度重点事業の評価について 資料1
- (2) 令和5年度主な取組事業の報告について 資料2
- (3) 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について 資料3

4. その他

5. 閉 会

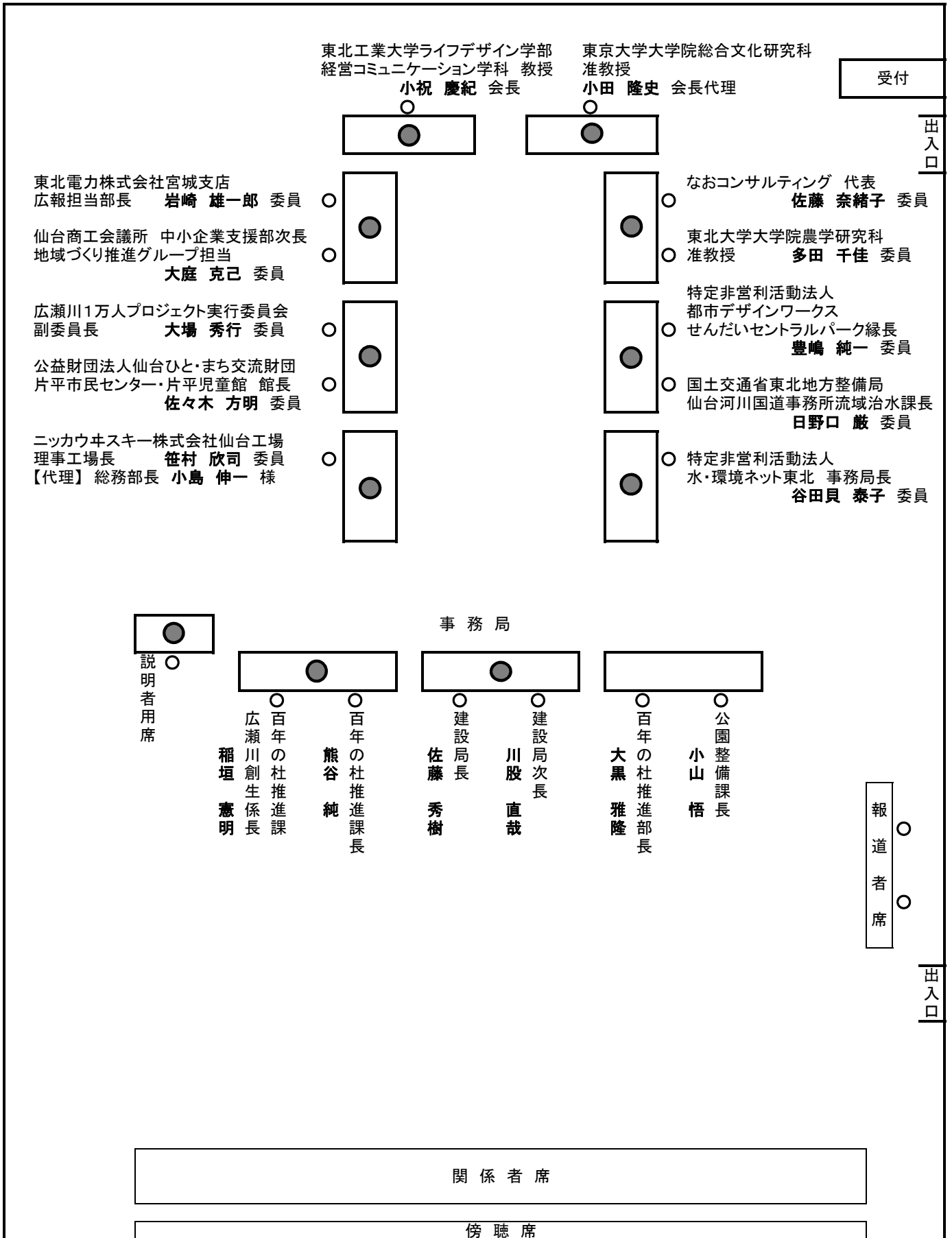
○配布資料

- 資料1 令和5年度重点事業の評価について
- 資料2 令和5年度主な取組事業の報告について
- 資料3 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について
- 参考資料1 広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱
- 参考資料2 広瀬川魅力創生サポーター認定制度(お知らせのチラシ)
- 参考資料3 広瀬川ミズベリング(プレゼン大会&水辺で乾杯)実施報告書
- 参考資料4 令和5年度取組事業一覧
- 参考資料5 R5重点事業・主な取組事業マップ
- 参考資料6 「2023 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン」
(河北新報 10 月 24 日朝刊掲載紙面/ホームページ)
- 冊子 広瀬川創生プラン 2015-2024【中間見直し版】

第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会 席次表

日時:令和5年11月17日(金) 14時00分から15時30分まで
 場所:仙台市役所本庁舎8階 第四委員会室

● :マイク



広瀬川創生プラン策定推進協議会委員名簿

第9期（令和4年4月1日～令和6年3月31日）

役職	氏名	役職又は団体名	備考
	岩崎 雄一郎	東北電力株式会社宮城支店 広報担当部長	
	大庭 克己	仙台商工会議所 中小企業支援部次長 地域づくり推進グループ担当	
	大場 秀行	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 副委員長	
会長 代理	小田 隆史	東京大学大学院総合文化研究科 准教授	
会長	小祝 慶紀	東北工業大学ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科教授	
	小松 智	公益財団法人仙台観光国際協会 観光事業部長(兼)受入環境整備課長	欠席
	佐々木 方明	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 仙台市片平市民センター・片平児童館 館長	
	笹村 欣司	ニッカウキスキー株式会社仙台工場 理事工場長 (代理出席: 総務部長 小島 伸一)	
	佐藤 奈緒子	なおコンサルティング 代表	
	多田 千佳	東北大学大学院農学研究科 准教授	
	田名部 一郎	宮城県仙台土木事務所河川部 河川砂防第一班技術主幹(班長)	欠席
	豊嶋 純一	特定非営利活動法人都市デザインワークス せんだいセントラルパーク縁長	
	野村 倫太郎	株式会社JTB仙台支店 営業第一課	欠席
	日野口 巖	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所流域治水課長	
	谷田貝 泰子	特定非営利活動法人水・環境ネット東北 事務局長	

(敬称略・五十音順)

令和5年度重点事業の評価について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第45回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

重点事業認定制度について(プラン冊子P40)

広瀬川創生プランに基づく取組事業のうち重点的に取組む事業を重点事業として協議会で認定しており、毎年度見直しを行っている。

また、重点事業など一部の取組事業は本市からの負担金の対象とする。

重点事業認定の基本的な考え方

●多様な主体が参画できること

市民・NPO・行政・企業などの多様な主体が、
お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの

●多くの市民が関わるができること

多くの市民が気軽にかつ自発的に参加することができるようなもの

●あらゆる方面への波及効果が高いこと

世代・地域・立場などを超えて、取組みの成果が幅広く波及するもの

●ソフト中心の取り組みであること

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの

2

令和5年度重点事業について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」 【継続】

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃活動
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
成果目標	参加者数 約2,300人程度（春：900人、秋：1,400人程度と見込む）
スケジュール	春の流域一斉清掃：4月22日（土）、秋の流域一斉清掃：9月23日（土）

3

【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクト



■成果目標

参加者数 約2,300人程度（春：900人、秋：1,400人）

■評価

参加者数は2,635人（春：918人、秋：1,717人）となり、目標を達成することができた。また、秋の一斉清掃では、広瀬川流域に加え、内陸部のゴミが川を通して流れつく海岸なども会場となっており、これまでで最多となる20会場で清掃活動が行われ、その様子が「2023あしたのみどりキャンペーン」特集記事（河北新報、10月24日朝刊）に掲載された。 ※参考資料6 参照

「宮沢橋会場の様子」



■来年度に向けて

昨年の秋の一斉清掃と同様、仙台城南高等学校の生徒が広瀬橋会場（9/30実施）の担当として清掃活動を行った。また、「みやぎ海つなぎアクション2023 うみ・かわ同時クリーン」（※）との共催により、蒲生干潟・七ヶ浜の2か所も一斉清掃会場となった。活動の幅が広がる中で、多くの市民が参加できる本取り組みを、本市としても引き続き支援していく。

※みやぎ海岸美化協議会が宮城県の沿岸部9箇所で開催したビーチクリーンイベント

4

【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクト

※参考資料5参照

広瀬川流域における一斉清掃活動 会場名 ※ () は会場担当	春の流域一斉清掃 (4月22日)		秋の流域一斉清掃 (9月23日)	
	参加者数	ゴミの数	参加者数	ゴミの数
①作並 (作並地区未来プロジェクト/ニッカウモスキー(株)仙台工場/仙台環境開発(株))	96	28	68	8
②野川橋 ((株)宮城衛生環境公社)			20	10
③折立 (仙台市カヌー協会/三洋テクニクス(株))			35	3
④牛越橋 ((株)建設技術研究所)			73	15
⑤殿橋 ((株)深松組/広瀬川を楽しむ会)	230	12	250	14
⑥仲ノ瀬橋 ((特活)都市デザインワークス)	32	4	43	4
⑦大橋左岸 (春:(特活)水・環境ネット東北/市民会議、秋:(株)NJS)			130	11
⑧大橋右岸 (春:(特活)水・環境ネット東北/市民会議、秋:中野建設コンサルタント(株))	110	10	81	7
⑨評定河原橋 ((株)バイタルネット)			51	1
⑩米ヶ袋 (パシフィックコンサルタンツ(株))			55	8
⑪宮沢橋 (広瀬川1万人プロジェクト実行委員会事務局)			116	2
⑫広瀬橋 (仙台城南高等学校) 【9月30日実施】			168	6
⑬八本松 (八本松緑地愛護協力会/(特活)水・環境ネット東北)			44	1
⑭千代大橋 ((一社)仙台建設業協会)	179	30	159	60
⑮太白大橋 (仙台市百年の杜推進課)			13	16
⑯名取川鉄道橋 (名取川水質汚濁対策連絡協議会)			25	20
⑰かわまちてらす閑上 (名取川水質汚濁対策連絡協議会)			51	9
⑱閑上海岸 (情報労連宮城県協議会/(特活)名取ハマボウフウの会/西松建設(株))	182	54	213	47
⑲荒浜海岸 (ビーチテニスクラブ東北/荒浜復興推進協議会)	89	23	98	26
⑳蒲生干潟 (みやぎ海岸美化協議会) 【共催:うみ・かわ同時クリーン】			13	11
㉑七ヶ浜 (みやぎ海岸美化協議会) 【共催:うみ・かわ同時クリーン】			11	12
合計 ※【 】は昨年からの増減	918人 [+24]	161袋 [-66]	1,717人 [+318]	291袋 [+30]

5

令和5年度重点事業について

■重点事業2 「アイラブ広瀬川プロジェクト」

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取り組み 例) 広瀬川に関わるワークショップ、自然・歴史・文化に関する講座など
実施主体	仙台市、その他活動団体
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらう (本市が実施主体となる取り組みでは、参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする)

・ 広瀬川自然体験学習 (8月20日(日)) 【継続】

・ 広瀬川スマホ写真教室 (10月29日(日)) 【継続】

・ 広瀬川ミズベリング (7月7日(金)) 【継続】

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト(広瀬川自然体験学習)

- 名称：広瀬川自然体験学習 【継続】 ■開催日：令和5年8月20日（日）
- 主催：仙台市百年の杜推進課 ■協力：広瀬川市民会議
- 場所：仙台市青葉区ニッカ地内（新川）

※ニッカウヰスキー株式会社仙台工場の敷地に隣接する新川で、令和2年度から開催している。

- 対象：小学生 ■参加者：42人（同伴の保護者を含む）
- 内容：広瀬川の支流である新川にて、インストラクターの指導のもと、小学生を対象に川の生き物探しや安全講習等を中心としたイベントを開催した。



7

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト(広瀬川自然体験学習)

《ライフジャケットの装着方法の講習》

■成果目標

参加者の80%以上に満足していただく

■評価

参加者42人にアンケートを実施し、結果、98%の参加者から『とても満足』『満足』との高評価が得られた。



■来年度に向けて

アンケートでは、『色々な生き物を捕まえることができて楽しかった』などの感想の他に、同伴の保護者から『川での事故も多く聞くので、「川には行かない」だけでなく、どうしたら安全に遊べるかも知りたかったので、とても良い機会でした。』との感想もいただいた。評価の高い本取り組みを、関係者の協力を得ながら引き続き実施していく。

8

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト(広瀬川スマホ写真教室)

- 名称：広瀬川スマホ写真教室 【継続】
- 開催日：令和5年10月29日（日）
- 主催：仙台市百年の杜推進課
- 参加者：9人 ※内、2名は午前の写真撮影のみ参加
- 場所：

【午前】 広瀬川河川敷の広瀬橋～

愛宕堰を散策しながら写真撮影

【午後】 荒町市民センター（第1会議室）

で座学講座

■内容：

広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、フォトグラファーの指導のもと、スマホによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学んだ。



9

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト(広瀬川スマホ写真教室)

■成果目標

参加者の80%以上に満足していただく

■評価

参加者9人にアンケートを実施し、結果、100%の参加者から『とても満足』『満足』との高評価が得られた。

《参加者の作品例 題：『せせらぎ』》



■来年度に向けて

参加者からは、『普段これだけのんびり散策したりすることがなかったので、様々な発見があり、とても楽しい時間になりました。写真を撮ることも好きなので、今日教えていただいたことを活かしていきたいと思います。娘達に自慢します。』などの感想をいただいた。評価の高い本取り組みを、関係者の協力を得ながら引き続き実施していく。

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト(広瀬川ミズベリング)

- **名称**：広瀬川ミズベリング（プレゼン大会&水辺で乾杯） 【継続】 ※参考資料3参照
- **開催日**：令和5年7月7日（金）
- **主催**：広瀬川ミズベリング実行委員会 ■ **事務局**：特定非営利活動法人都市デザインワークス
- **場所**：仙臺緑彩館 交流体験ホール（プレゼン大会）、広瀬川沿いのウッドデッキ（水辺で乾杯）
- **参加者**：【プレゼン大会】発表：6組（応募：51組）、観覧：約100名
【水辺で乾杯】約130名
- **内容**：広瀬川を舞台にした事業創発のアイデアや潜在的な広瀬川活動人材を掘り起こすため、プレゼン発表の場をつくとともに、水辺で乾杯を通じて、立場を超えた一体感をつくりだす。
- **負担金**：支出予定（262,000円） 〈総事業費 524,417円〉



11

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト(広瀬川ミズベリング)

■ 成果目標

≪審査員特別賞岩本賞を受賞した小学生グループ≫

参加者に広瀬川の魅力を再認識してもらう

■ 評価

「“望想”アイデアコンテスト」には、小学生を含め幅広い年代から応募があった。プレゼン大会は約100名が観覧し、広瀬川の魅力を再認識してもらう場となった。

また、発表後に行われた「水辺で乾杯」には約130名が参加し、大きな波及効果を生み出した。



今回のイベントは、当年度開催された「第40回全国都市緑化仙台フェア」のメイン会場として整備された青葉山公園・仙臺緑彩館や広瀬川沿いのウッドデッキで実施された。本エリアは仙台のはじまりの地である仙台城跡を含む青葉山一帯と、悠久のときを感じさせる広瀬川に囲まれており、広瀬川に市民が親しみ、その魅力を感じることものできる場所として、同様のイベントを含め、今後も利活用を図っていく。

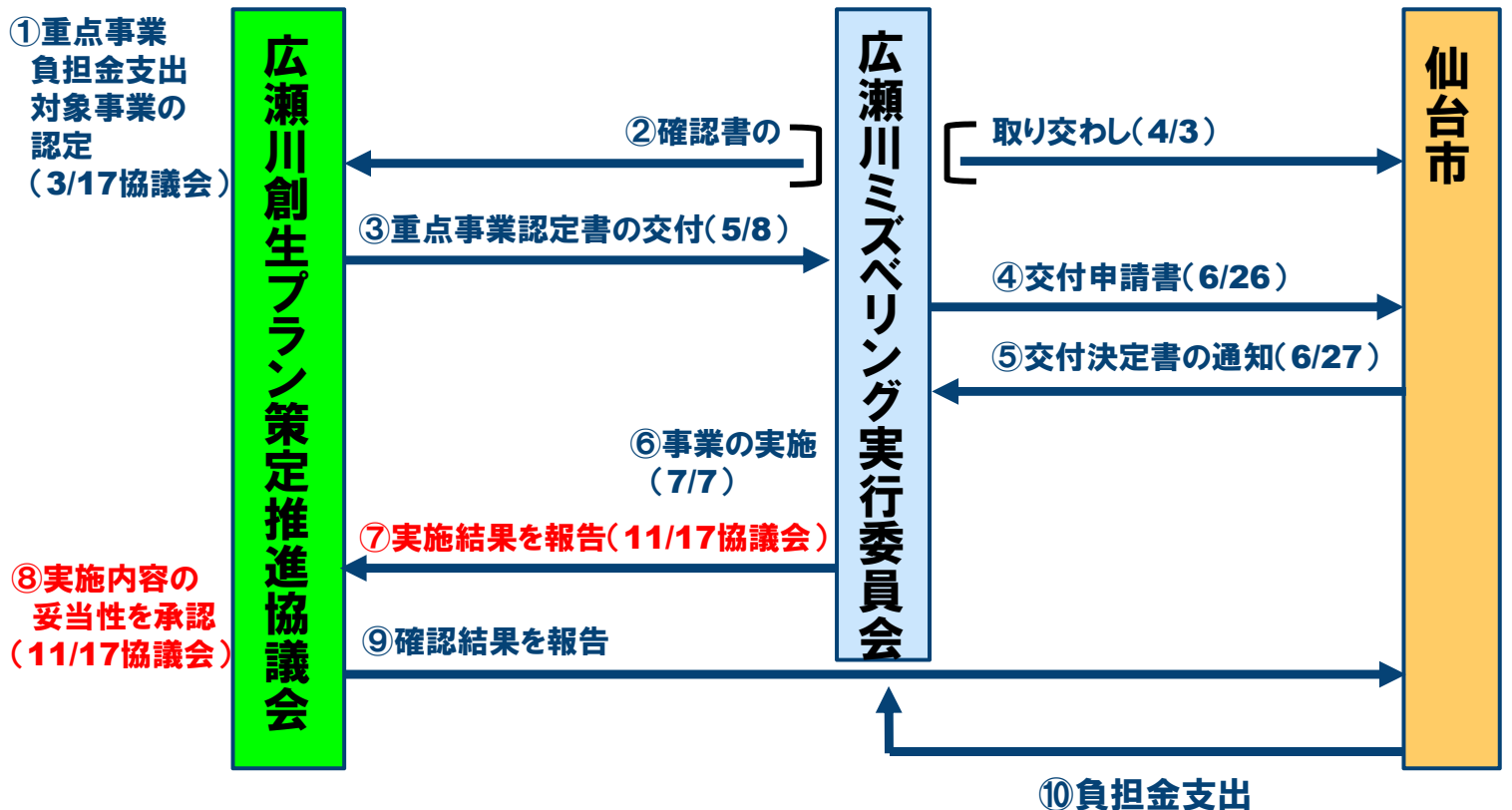
12

重点事業に対する負担金支出

年度	重点事業 負担金支出対象事業	負担金支出額
平成30年度	平成30年度「広瀬川で遊ぼう」 (広瀬川で遊ぼう実行委員会)	45万円
〃	第11回作並かっぱ祭り (作並かっぱ祭り実行委員会)	20万円
平成31・令和元年度	平成31年度「広瀬川で遊ぼう」 (広瀬川で遊ぼう実行委員会)	45万円
〃	第12回作並かっぱ祭り (作並かっぱ祭り実行委員会)	20万円
令和2年度	対象事業なし (コロナの影響で「広瀬川で遊ぼう」・「作並かっぱ祭り」が中止)	—
令和3年度	〃	—
令和4年度	〃	—
令和5年度	広瀬川ミズベリング (広瀬川ミズベリング実行委員会)	26.2万円 (予定)

※事業負担金の運用方法を明確にするため、仙台市と広瀬川創生プラン策定推進協議会とで事前に確認書を取り交わしている。(P15参照)

負担金支出の流れについて



広瀬川創生プラン事業負担金に関する確認書

仙台市（以下「甲」という）と広瀬川創生プラン策定推進協議会（以下「乙」という）は、下記事項について確認する。

記

1. 乙が重点事業と認定した事業のうち、実施団体の自己資金による運営が困難な事業について、乙は実施団体に対して重点事業認定書を交付する。
2. 甲は、甲の予算の範囲内において、乙の認定を受けた実施団体から申請があった事業について、事業に係る経費の一部を事業負担金として交付する。
なお、負担金の上限は、総事業費の1 / 2までとする。
3. 乙は負担金を申請した事業に対し、実施内容の妥当性について協議会の場で承認を得た後、甲に報告しなければならない。

令和5年度主な取組事業の報告について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第45回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

令和5年度取組事業について

令和5年度取組事業 概要 (参考資料4参照)	件数
取組事業 総数	82件

主な取組事業

- ・広瀬川フィールドワーク
- ・令和5年度仙台市プレーパーク活動等普及啓発事業
- ・杜々かんきょうレスキュー隊事業 プログラムNo. 5
「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」
- ・第15回いい川・いい川づくりワークショップ in 東北
- ・広瀬川界限ぶらり散歩
- ・仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新
- ・東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業 (東北工業大学の学生との広瀬川歩き)

2

令和5年度主な取組事業の報告について

- 名称：広瀬川フィールドワーク
- 開催日：令和5年5月18日（木）
- 主催：宮城県仙台二華高等学校
- 協力：仙台市百年の杜推進課
- 場所：広瀬川沿い（愛宕堰～千代大橋付近）、六・七郷堀等
- 参加者：仙台二華高等学校1年次の全生徒240名
及び引率の教員、百年の杜推進課職員
- 内容：

仙台二華高等学校では、課題研究のテーマとして「世界の水問題の解決」を掲げ探究活動を行っており、今回は広瀬川や六・七郷堀沿いを歩きながら水の利活用を学び、身近な生活の場面に生かされる水環境について考える活動を行った。

後日学校側からは、『今後の課題研究や世界の水問題を考えていく上で大変有意義なフィールドワークとなりました』との感想があり、参加した生徒が知識・経験を得られる良い機会となった。



3

令和5年度主な取組事業の報告について

- 名称：令和5年度仙台市プレーパーク活動等普及啓発事業
- 開催日：令和5年8月19日（土）・20日（日）
- 主催：仙台市子ども若者局 子育て応援プロジェクト推進担当
- 実施：せんだい遊びとまちネットワーク
- 場所：大橋上流左岸側、せせらぎ水路
- 参加者：約240名（2日間の延べ人数）
- 内容：

子どもの遊びの環境を充実させることを目的に、広瀬川河川敷等に子どもの遊び場を一時的に仮設し、子ども達が自発的に遊ぶ機会を提供するとともに、プレーパーク活動の啓発や担い手の発掘、遊びを引き出すスタッフの育成を行う取り組み。

“せせらぎ水路”では、網を使って水生昆虫を捕まえたりする子がいたり、大人と一緒に川辺の石の上に座って水をバシャバシャして遊ぶ1歳ぐらいの子がいたり、様々な年齢の子と一緒に楽しめるスポットとして賑わった。

※本事業は令和5年度において、8/19・20広瀬川河川敷、9/23あすと長町 杜の広場公園、11/4・5台原森林公園（自由広場）と3箇所で開催された。



4

令和5年度主な取組事業の報告について

■名称：杜々かんきょうレスキュー隊事業 プログラムNo.5

「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」

■開催日：9月25日（月）

■主催：杜の都の市民環境教育・学習推進会議

（愛称：FEEL Sendai（フィールセンダイ））

■事務局：仙台市環境局環境共生課 ■実施：カワラバン

■場所：大橋上流左岸側、せせらぎ水路 ■参加者：保育園児 約20名

■内容：

「杜の都・仙台」の特色ある自然環境・社会環境を素材に、プログラムを体験し身近な自然や地球を守るために環境に配慮した行動の取れる人（＝杜々かんきょうレスキュー隊員）となることを目的として、環境NPOなどが環境学習プログラムを作成し提供する取り組み。（作成されたプログラムは、市内の小中学校や保育所等を対象に実施し、普及・活用を行っている。）

環境学習プログラムのうちの1つ「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」は、川に入っただけの活動をする際に適した装備や行動、そして危険箇所等を学ぶと共に、実際に川に入って魚や水生生物を採取し観察する活動を行っている。当日は、水面を見つめながら生き物の採取に夢中になっている園児の様子が印象的だった。

大橋上流左岸側の“せせらぎ水路” で行われたプログラムの様子



5

令和5年度主な取組事業の報告について

■名称：第15回いい川・いい川づくりワークショップ in 東北

■開催日：令和5年9月30日（土）・10月1日（日）

※前日の9月29日（金）には、ワークショップ参加者向けのエクスカージョン（体験型の見学会）が実施された。（3コースの内、仙台市が参加予定だった広瀬川沿いを巡るコースは都合により中止となった。）

■主催：いい川・いい川づくり実行委員会（現地実行委員会

事務局：特定非営利活動法人水・環境ネット東北）

■後援：国土交通省、仙台市（百年の杜推進課）

■場所：東北大学 青葉山キャンパス ■参加者：約250名

■内容：

これぞ“いい川”、“いい川づくり”という事業・活動を全国から募集し、2日間の公開選考会方式の発表・議論を通して、“いい川”・“いい川づくり”のイメージや評価の視点、取り組みのヒントなどを参加者全員で探り、共有していこうという大会。

広瀬川関連では、広瀬川ミズベリング/プレゼン大会でも発表された、「Garden of River, SENDAI PJ（宮崎典子氏）」が最終選考に残り、入賞を果たした。



6

令和5年度主な取組事業の報告について

- **名称**：広瀬川界隈ぶらり散歩
- **実施主体**：片平市民センター、仙台市百年の杜推進課
- **内容**：市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝える講座を開催する。

■ 当年度の実施内容：

【**花壇大手町コース**】（国際センター駅集合→キリシタン慰霊碑→大橋→銭形不動尊→まちなか農園藤坂→藤坂織姫神社→大町西公園駅解散）

- ・実施日 5月13日（土）、6月3日（土）、6月17日（土）
- ・第40回全国都市緑化仙台フェア期間中に開催した計3回の講座では、地域や広瀬川の魅力と共にフェアの紹介も行った。
※仙台フェア期間中の広瀬川界隈ぶらり散歩は、フェア関連イベント（催事協賛）として実施された。

【**米ヶ袋コース**】（片平市民センター集合→東北大学片平キャンパス→鹿の子清水跡→本田記念館→縛り地藏尊→広瀬川遊歩道→霊屋橋→片平市民センター解散）

- ・実施日 10月14日（土）、11月4日（土）



令和5年度主な取組事業の報告について

- **名称**：仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新
- **実施主体**：広瀬川インスタクラブ、仙台市百年の杜推進課
- **内容**：広瀬川流域の情報発信を目的として運営している「広瀬川Instagram」について、令和5年度はこれまでに計27回の投稿を行い、広瀬川魅力を積極的に発信している。また、4月26日～6月18日に青葉山公園や西公園、また、広瀬川をメイン会場として開催された第40回全国都市緑化仙台フェアの紹介記事を投稿するなど、Instagramを活用した仙台フェアの魅力発信も行った。

西公園こけし塔ライトアップ（4月6日投稿）

仙台市カヌー協会（4月20日投稿）

広瀬川フィールドワーク（5月22日投稿）



仙台フェアの紹介記事

広瀬川地区会場～せせらぎ水路～（6月2日投稿）



青葉山公園追廻地区会場（5月17日投稿）



令和4年度に実施した際の様子

- **名称**：東北工業大学ライフデザイン 学部生連携事業
(東北工業大学の学生との広瀬川歩き)
- **開催予定日**：令和5年11月23日（木）
- **実施主体**：東北工業大学、
仙台市百年の杜推進課
- **場所**：片平市民センター～仙臺緑彩館
- **参加者**：
東北工業大学 小祝 慶紀教授、学生5名程度
青空編集室 西大立目 祥子氏
都市デザインワークス 豊嶋 純一氏
仙台市百年の杜推進課職員



広瀬川グリーンサポーターの認定の 報告について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

広瀬川グリーンサポーターの認定について

■ 広瀬川魅力創生サポーター認定制度実施要綱 第8条第3項より

広瀬川グリーンサポーターの認定又は不認定の通知をしたときは、
協議会にその旨を報告するものとする。

■ 今回 **1** 団体から広瀬川グリーンサポーターの新規申請があった。

《認定の要件》

広瀬川創生プランの取組事業（※）に延べ10人以上従事

※申請の前年度～当該年度に開催されたもの

2

- 広瀬川の自然環境の保全や賑わいの創出に貢献している活動団体に対して「広瀬川魅力創生サポーター」として認定する制度を平成31年4月1日に創設した。

参考資料 2 参照

広瀬川グリーンサポーター（6 団体認定済）

【認定団体】



- ・（株）阿部砂利建設
- ・（株）開成エンジニアリング
- ・東鉄工業（株）東北支店
- ・ニッカウヰスキー（株）仙台工場
- ・（株）フジタ 東北支店
- ・（公財）みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 水部会
- ・（公財）みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 水部会

広瀬川ゴールドサポーター（4 団体認定済）

【認定団体】



- ・株式会社深松組
- ・特定非営利活動法人都市デザインワークス
- ・株式会社建設技術研究所 東北支社
- ・株式会社N J S 仙台事務所

3

広瀬川グリーンサポーターの認定について(報告)

- 団体名：大和リース株式会社 仙台支社
(主な事業：規格建築事業、流通建築リース事業 等)
- 代表者：支社長 田中 徳明 様
- グリーンサポーター認定期間：令和5年8月9日から令和8年3月31日まで
- 活動実績：**第33回広瀬川流域一斉清掃**
(R5.4.22千代大橋会場の清掃活動に18人が従事)

【第33回一斉清掃活動の様子】



4